

～調査結果から～

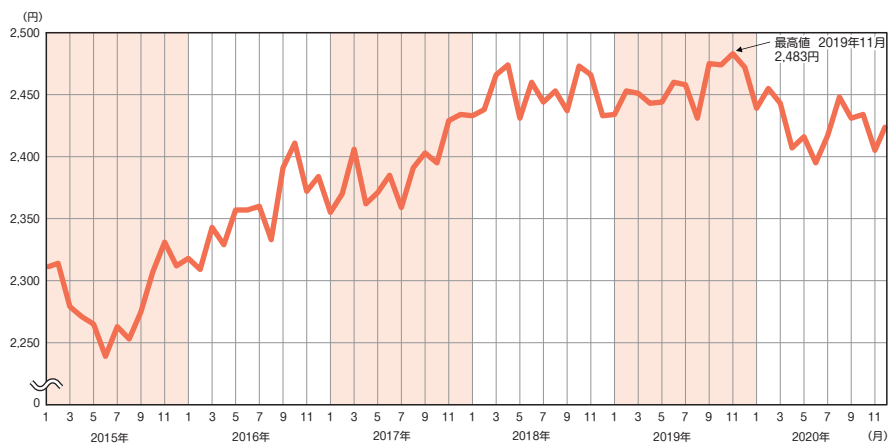
小売価格の推移（東京都区部）

うるち米

2015年から2020年までのうるち米の価格の推移を見てみると、2015年の夏から上昇傾向が続き、2019年11月に2,483円と最高値となりました。その後、価格は下落傾向となっています。

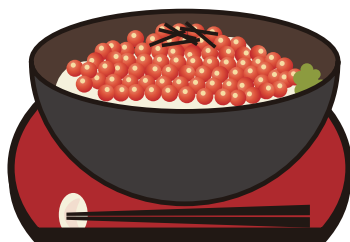


うるち米（5kg袋入り）の価格の推移



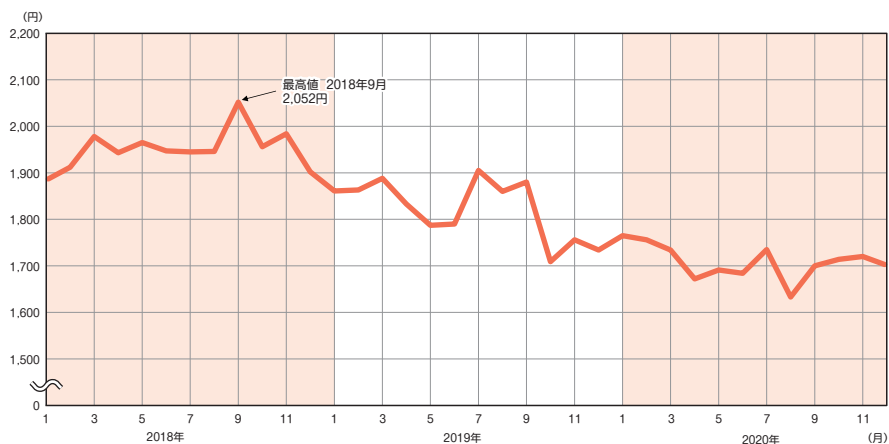
小売価格の推移（東京都区部）

いくら



2018年から2020年までのいからの価格の推移を見てみると、数年続いた“さけ”の不漁が一服したことにより2018年の秋から下落傾向が続いています。最も高値だったのは2018年9月で、2,052円でした。

いくら（100g）の価格の推移



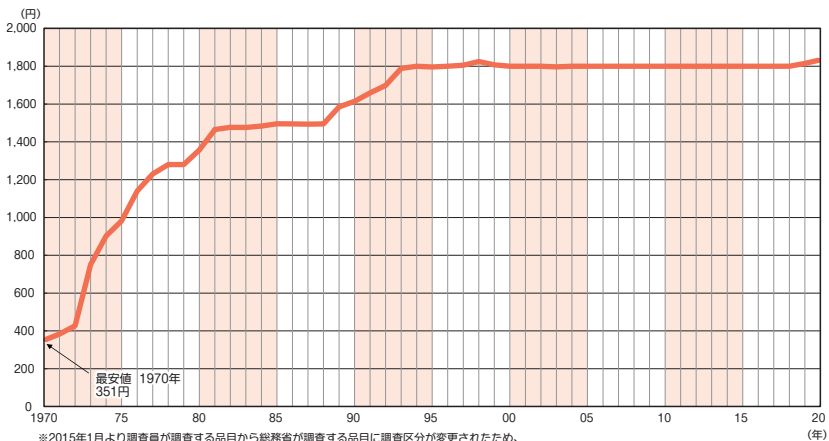
小売価格の年次推移（東京都区部）

映画観覧料

映画観覧料の価格の長期的な推移を見てみると、調査を開始した1970年当時は351円でした。その後は70年代と90年前後に上昇していましたが、93年以降は長らくほぼ横ばいとなっています。



映画観覧料（1回）の価格の年次推移



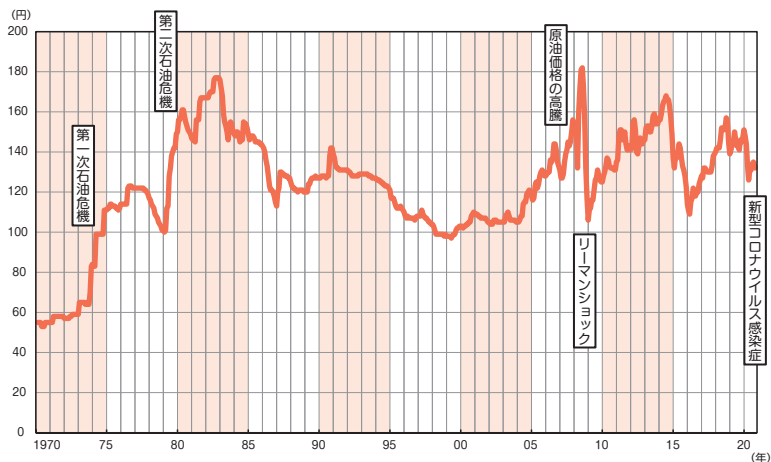
小売価格の推移（東京都区部）

ガソリン

ガソリンの価格の長期的な推移を見てみると、国外も含めた様々な社会情勢等により、価格が大きく上昇、下落していることがわかります。



ガソリン（レギュラー、1ℓ）の価格の推移



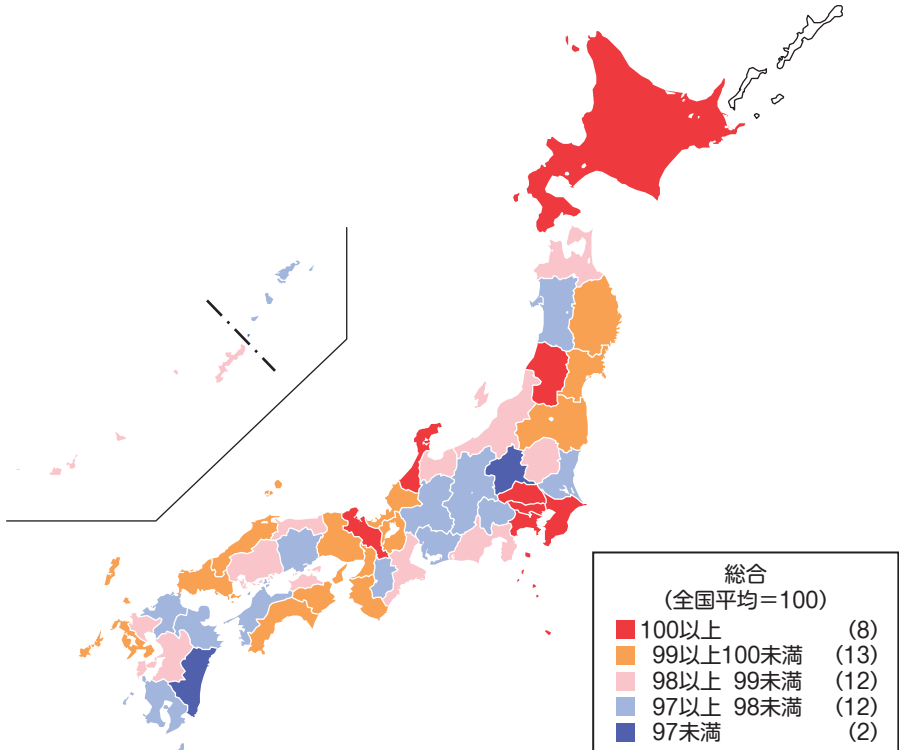
都道府県別の物価水準

2020年平均消費者物価地域差指数（全国平均＝100）の「総合」を都道府県別に見ると、東京都が105.2と最も高く、次いで神奈川県（103.2）、京都府（101.6）、千葉県（101.0）などとなっています。

一方、最も低いのは宮崎県（95.9）で、次いで群馬県（96.7）、鹿児島県（97.2）、奈良県（97.3）などとなっています。

最も高い東京都は最も低い宮崎県に比べて、9.7%高くなっています。

消費者物価地域差指数（総合）（47都道府県）（全国平均＝100）



※括弧内は該当する都道府県の数